

e.m.主催 / 寺山修司没 30 年記念認定事業

「寺山修司の言葉展」開催

寺山修司の言葉展

アクセサリーを中心に幅広い分野でデザインを手掛ける「e.m.(イー・エム)」が、10月14日(月)から11月4日(月)まで、伊藤忠青山アートスクエアにて展覧会「寺山修司の言葉展」を開催致します。

これまで百貨店を中心に全国各地でポップアップショップを出店しては、バラエティ豊かなテーマに合わせた種々の商品や、多彩な空間創りで会場を盛り上げてきた「e.m.」が初めて挑戦する展覧会は、詩人、劇作家、写真家、映画監督、多くのジャンルで活躍したことで知られ“言葉の錬金術師”と呼ばれた寺山修司氏の言葉を扱う内容。

寺山修司氏は、「私が死んでも墓は建ててほしくない。私の墓は私の言葉であれば充分」と書き残すほど、多くの偉大なる言葉を生み出しました。

そんな寺山修司の色褪せない魅力の一つである言葉に、没後 30 年の今日も沢山の人が感化されています。

時には心を揺さぶり、時には答えを導き、時には創造力を駆り立てる、一つの言葉。

本展では、e.m.のみならず、あらゆるジャンルで活躍するトップクリエイターが、寺山修司の言葉にインスパイアされた作品を発表します。

クリエイターの視座から、時代の価値観によって変遷し、視覚的に表現された寺山修司の言葉をお楽しみください。

「寺山修司の言葉展」概要

期間 2013年10月14日(月)-11月4日(月) 無休

時間 11:00-19:00

会場 伊藤忠青山アートスクエア
東京都港区北青山 2-3-1

入場 無料

主催 イー・エム・デザイン株式会社

共催 伊藤忠商事株式会社

協力 笹目浩之(ポスターハリス・カンパニー/テラヤマ・ワールド)
青山商店会連合会

URL <http://www.em-grp.com/topics/view/1167>

なお、10月17日(木)～20日(日)には、同会場の別フロアにて、合同展示会「HUB」を開催致します。
是非お立ち寄りください。

HUBとは？

「HUB」の原義は物事を中心 さまざまなものが集中し、また発信される

e.m.がプロデュースするショールーム「HUB」。物事を中心という原義の通り、さまざまなブランド、アイテム、業種を越えた価値ある取り組みの可能性が集中しては、また外に向けて発信されていく、ファッション業界におけるHUB 空港のようなショールームを目指します。

公式サイト: <http://www.hub-exhibition.com>

e.m.

1996年“みんながよろこぶものづくり”“ありそでなさそなものづくり”をコンセプトに仲谷英二郎、飛田真義によって、ジュエリーとインテリアを取り扱うブランド「e.m.」を設立。独創的な発想と世界観が幅広い年代に支持され、現在はセレクトショップなどへの卸事業とともに、全国に直営店を展開。またジュエリーやインテリアにとどまらず、空間やグラフィックのデザインおよびディレクションを手掛ける。

公式サイト: <http://www.em-grp.com/>

〈本リリースに関するお問い合わせ先〉

PRESS ROOM

担当:相澤利佳

03-3449-1192 / r-aizawa@em-grp.com

【参加クリエイター】

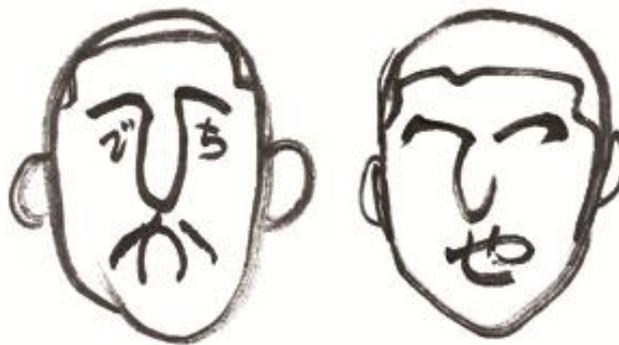
※ABC 順・敬略

■ D[di:] / 作家・イラストレーター



宮崎駿監督のお墨付きで出版、デビューをして以来、小説や漫画、ファッションなど多岐に渡って活躍してきた D[di:]。繊細なタッチ、独特のリズム感、リカルな文章が紡ぐ世界観は多くの著名人たちも虜にしている。オフィシャルサイト:deeth.net オフィシャルショップ:deeth.shop-pro.jp

■ 大日本タイポ組合 / グラフィックデザイナー



1993年に秀親と塚田哲也により結成。グラフィックデザインを中心に、文字を解体・再構築し新しい文字の概念を探る実験的タイポグラフィ集団。出版物に『Type Card Play Book』(ACTAR)『大日本字』(誠文堂新光社)。2013年9月かみの工作所より「G.a.m.e.」発売。<http://dainippon.type.org/>

■ e.m. / ジュエリーデザイナー



1996年“みんながよろこぶものづくり”“ありそでなさそなものづくり”をコンセプトに
仲谷英二郎、飛田真義によって、ジュエリーとインテリアを取り扱うブランド『e.m.』設立。
独創的な発想と世界観が幅広い年代に支持され、
現在はセレクトショップなどへの卸事業とともに、全国に直営店を展開。
またジュエリーやインテリアにとどまらず、空間やグラフィックのデザインおよびディレクションを手掛ける。

■ えぐちりか / アートディレクター・アーティスト



アートディレクターとして働く傍ら、アーティストとして国内外で作品を発表。最近の仕事に、ソフトバンク「PANTONE∞」、ベネッセこどもチャレンジ baby2013 教材玩具トータルアートディレクションなど。
2011年フィギュアスケート高橋大輔選手のフリープログラムの衣装を担当するなど、平面から立体、
広告や衣装など幅広い活動を展開。JAGDA 新人賞、ひとつぼ展グランプリ、岡本太郎現代芸術大賞
優秀賞受賞、グッドデザイン賞、D&AD 金賞など受賞多数。

■ FUGAHUM / FUGAHUM デザイナー



ブランド名の”FUGAHUM”は、三嶋と山本の考える架空の国家でありその国の名称である。
”FUGAHUM”は地球上にある架空の国家である。世界のどの国にも歴史があるように”FUGAHUM”
にも歴史が存在しており、この国の過去にはネイティブが文明人に侵略され、思想や文化が変化した歴史
が存在する。”FUGAHUM”の文化や習慣は、地球上の歴史を受け入れ共存し繁栄してゆく。
この国に住む住民は他民族(文明人)から侵略され、今までにない宗教観や文明などの影響を受けて
自分たちの本質と新しい価値観を生みだしてきた。ベクトルの違う価値観をアレンジし、新しい価値観を
生み伝え進化することによって、国の歴史が作られていく。その歴史の断面を、ファッションだけにとどまら
ず様々な方法で表現し、”FUGAHUM”という国を確立していくアートプロジェクトである。

■ 伊藤 勝 / ITO MASARU DESIGN PROJECT / SEI インテリアデザイナー



1961年大阪生まれ、1987年東京造形大学卒業。

カワサキ・タカオ オフィスを経て1991年に独立しSEIco.,ltd.を設立する。2005年 ITO MASARU
DESIGN PROJECT/SEIに屋号変更。インテリアデザインをツールとして国内外を問わず、そのエッジ
ーな感覚と独特な切り口に基づく手法により新たなクリエイションを発信し続ける、インテリア業界の異端
派。“常に視線はコンシューマー”をテーマに日々クリエイションを追求する、究極のクリエイター。

■ 神原 秀夫 / プロダクトデザイナー



1978年広島県生まれ。東京造形大学卒業後、TOTO、電通を経て、BARAKAN DESIGN を設立。
プロダクトのみならず、グラフィックやインテリアなど幅広いデザイン領域で活動を展開。
MoMA パーマネントコレクションや D&AD Yellow Pencil、グッドデザイン賞など受賞多数。
東京大学 先端科学技術研究センター 特任助教

■ Kim Songhe / アーティスト



1982年東京生まれ。国籍は韓国。織田デザイン専門学校卒業後、デザイン活動を開始。
2005年に、青山のセレクトショップ「Loveless」にて展示したシャンデリア作品が注目を集め、それ以降、
ショップ空間のディスプレイなどを数多く手掛ける。彼女が制作するシャンデリアは、レトロなぬいぐるみや
アメリカン・トイなど、自らが蒐集した既成のアイテムをコラージュすることで形を成す。「ジャンク・コラー
ージュ」とでも表現できるそれらの作品は、ごちゃごちゃのようでありながら奇妙なバランスで統合されており、イノ
セントな感覚を観る側に呼び起こす。2009年にはサンフランシスコやソウルの美術館などで作品を展示。
最近では、達磨や招き猫、熊手といった縁起物に注目し、多幸感あふれる作品を発表している。

■ 黒田 潔 / イラストレーター



1975年東京生まれ。線画で描かれる動植物のアートワークで雑誌や本の装丁をはじめ、さまざまな分野で活躍を続ける。東京都現代美術館「MOT アニュアル 10」、韓国のナム・ジュン・パイクアートセンターでの展覧会等、国内外での展覧会に多数参加。2009年(株)KABWA 設立。作品集に「森へ」(ピエ・ブックス)、古川日出男との共作「舗装道路の消えた世界」(河出書房新社)。大阪成蹊大学客員教授。

<http://www.kiyoshikuroda.jp/>

■ 成田 久 / アーティスト・資生堂アートディレクター



1970年生まれ。アーティスト、資生堂宣伝制作部アートディレクター。資生堂の様々なブランドのアートディレクションを担当。NHK 大河ドラマ「八重の桜」のポスタービジュアルや「ただいま、東北♥」(<http://www9.nhk.or.jp/yaenosakura/tadaima/>) キャンペーン企画、優香を起用した2012年のパルコの夏キャンペーンなども。さらに、「成田久」の作品が見られる！着られる！買える！そして、仕事のオーダーもできる！販売所★兼★仕事場「キュキュキュカンパニー」を2013年6月に開店。

www.cuecucuecompany.com

■ スズキ タカユキ / suzuki takayuki デザイナー



1975年愛知県生まれ。東京造形大学在学中に友人と開いた展示会をきっかけに
映画、ダンス、ミュージシャンなどの衣裳を手掛けるようになる。

2002-03A/W から自身ブランドを立ち上げ、2007年より東京コレクションに参加。

2009年には、Milano Unica でのイベント「オン・ステージ」に世界の新興デザイナー10名の中の一人として
選ばれ、合同ショーに参加。2012年には、インドにて開催された「Wills Lifestyle India Fashion
Week」で合同ショーに参加している。現在では 企業とのコラボレーション、インスタレーションなどの
空間演出、ウェディングドレスやユニフォームのデザインを手掛けるなど活動の場を広げている。

■ 武田双雲 / 書道家



1975年熊本生まれ。東京理科大学卒業後、NTT に就職。約3年後に書道家として独立。

NHK 大河ドラマ「天地人」や世界遺産「平泉」、世界一のスパコン「京」など数々の題字を手掛ける。

独自の世界観で、全国で個展を開催。作品集「たのしか」「絆」など著書は20を超える。

書道教室には250名以上の門下生が通う(2005年新規募集締切)2013年度文化庁から文化交流使に
任命され、ベトナム～インドネシアにて、様々なワークショップやパフォーマンスを行う。

公式サイト:<http://www.souun.net/> 感謝69:<http://kansha69.com/>

■ 津村 耕佑 / FINAL HOME ファッションデザイナー



'82年 第52回装苑賞受賞、'83年にミヤケデザイン事務所に入社し三宅一生氏の下クリエイションスタッフとしてパリコレや様々な展覧会に関わる。'92年「第21回現代日本美術展」準大賞受賞。

'94年 都市型サバイバルウェア"FINAL HOME"を考案する。

同年、第12回毎日ファッション大賞新人賞、資生堂奨励賞を受賞。'01年、織部賞受賞。

'08年より武蔵野美術大学 空間演出デザイン学科の教授に就任。

■ 山田 遊 / バイヤー、クリエイティブ・ディレクター



IDEE SHOP バイヤーを経て、2007年株式会社メソッド設立。

「スーベニアフロムトーキョー」「Tokyo's Tokyo」「PASS THE BATON」

「IMF・世界銀行年次総会」等での商品選定やディレクションのサポート等に携わりながら、
花火のセレクトショップ「fireworks」のプロデュースも行う。

2013年6月に「別冊 Discover Japan 暮らしの専門店」が、エイ出版社より発売。